

南ユーカーが丘自治会

〔2026年度版〕 資源ゴミの出し方

回収日 (毎月第3火曜日)	【2026年】	4月21日	5月19日	6月16日	7月21日
		8月18日	9月15日	10月20日	11月17日
雨天決行 荒天時除く	【2027年】	12月15日			
		1月19日	2月16日	3月16日	4月20日
時間	朝8時半までに出してください(時間厳守!) ・遅れて出されると回収されないことがあります ・6時半~7時半ごろメロディ♫を流して回ります				
回収場所	♠戸別回収(戸建てのみ)		♠拠点回収		
	新聞 雑誌		「資源回収集積所」掲示ゴミステーション 新聞 雑誌 ダンボール		
出し方	新聞	◆ 新聞紙・チラシ以外は入れないでください			
	雑誌	◆ 雑誌だけでまとめてください			
	ダンボール	◆ 間に波型がはいっているもののみ ◆ 箱に入れず、必ず折りたたんで紐でまとめて下さい ◆ 「拠点回収」のみとなります			
回収できない物	上記以外				
ご注意	①雨天でもビニール等で覆わないでください。 ②荒天による中止の場合や、回収漏れがあった場合でも 再回収はいたしませんので、出した資源物はお持ち帰り下さい。				
連絡先	(有)新村(にいむら)商店 TEL.043-461-1918				

～資源回収へのご協力をお願い致します～

〈南ユーカーが丘自治会資源回収環境部〉

YUKARI TOWN NETWORK ユーカリまちづくり 第44号

Apr.01.2026

～音楽と笑顔で地域をつなぐ・・・ 揚琴奏者 青野 淳子 さん

揚琴(ようきん)という楽器をご存じでしょうか？ 揚琴は、約 150 本もの金属の弦を竹のバチで叩いて音を出す中国の伝統楽器です。柔らかく澄んだ音色は、「初めて聴くのにどこか懐かしい」と評されます。今回は、日本では数少ない奏者として活躍する青野淳子さんにお話を伺いました。

「揚琴との出会い」

東京生まれ。父の転勤で各地を転々とし、転校を重ねた経験は「新しい環境に溶け込む力」を得たように思います。大学では中国文学を専攻。北京での語学研修中に楽器店に出会った揚琴。初めて触れたその音色に心を奪われ、帰国後、中国人奏者に師事し本格的に学び始めました。ピアノと打楽器の経験が活き、現在は日本では数少ない揚琴奏者として、ソロを中心に演奏活動を続けています。

「揚琴の魅力」とは？

約 150 本の金属弦をバチで叩いて奏する揚琴。優しく郷愁を誘う音色は心を癒します。合奏では伴奏的役割が多い楽器ですが、青野さんはその可能性を信じ、ソロ演奏で魅力を届けています。中国楽器という枠を越え、クラシックからポピュラーまで幅広く対応できる表現力も特徴で、静かに心へ届く音は、聴く人それぞれの情景を呼び起こすような力を持ちます。

オフィシャルウェブサイト
<https://junkoano.com/>



演奏活動や体験講座について

自治体主催の市民コンサートやパーティーなどでの演奏の他、学校や公民館での体験講座を行っています。学校では楽器を何台か持参し、子どもたちに実際に触れてもらう機会も設けています。楽器の構造や歴史を語るトークも好評で、距離の近い空間で、音色と物語を届けることを大切にしています。

異文化理解について

10 年以上の米国在住の経験から、異文化の中で生きることの難しさと支え合いの大切さを実感しました。学校で揚琴講座を行う際には、「初めての出会いを大切に、新しいことに挑戦する勇気を持ってほしい」と子どもたちに伝えています。また、市内で外国籍生徒の日本語指導にも携わり、不安を抱える子どもたちの心に寄り添い、互いを理解し合う姿勢が何より大切だと思っています。

地域との関わり

旧堀田邸の「観月の夕べ」での演奏等地域とのつながりもいただいています。より多くの皆様に揚琴を知ってもらえたらと思います。



揚琴を演奏する青野淳子さん

柔らかな語り口の奥に、揺るぎない芯の強さを感じました。150 本の弦が紡ぐ音色のように、青野 淳子さんの歩みもまた、多様な経験が重なり合っているかのようでした。異文化を知り、地域に根を張り、静かに響きを届け続ける姿は、まさに“音でつなぐ人”そのものでした。

(取材：2月20日 伊藤佐緒里 尾崎戦時)

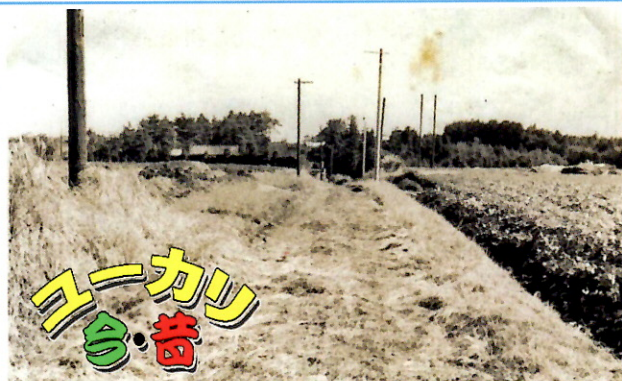
タウンネットワークって何をしているの？

「まちづくり」をしています。

会員数：133 名 (個人会員・法人会員)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 田んぼ体験 | 田植え、草取り、田んぼの管理など |
| 名画鑑賞会 | 毎月第3日曜日 13時開場 ユーカリボウル |
| 何でもカルチャー | スマートフォン講座 デジタル化講座など |
| | ワインセミナー 日本酒セミナーなど |
| 環境美化活動 | 毎月最終土曜日 モノール高架下 |

昭和三五年(一九六十年)二月
 志津中学校正門前道路





第47回懇話会

笑い と 涙 の 修 行 道 !

落語家(二ツ目)三遊亭 遊かりさん



1月31日(土) 志津コミセンに於いて第47回懇話会が開催されました。高座に上がったのは、テレビ番組『笑点』でおなじみの三遊亭小遊三師匠の孫弟子にあたる、「三遊亭遊かり」さんです。

37歳で初めて落語に出会い、その翌年に入門したという異例の経歴を持つ三遊亭遊かりさん。知られざる落語界の舞台裏や厳しい修行の日々をユーモアたっぷりに語ってくださいました。

厳格な「カースト制度」と前座修行

落語界には今もなお、「前座・二ツ目・真打」という厳しい階級制度が存在します。入門するとまず「前座」として4年間の修行が始まりますがその生活は想像を絶するもの。

- ・休みなしの4年間：1年365日、4年間一日も休みがありません。
- ・口にしてよい言葉は3つだけ：楽屋で前座が言っているのは「はい・ありがとうございます・申し訳ございません」のみ。「いいえ」とは言えません。
- ・お茶出しの極意：師匠方がお盆から茶碗を取ってくれるまで差し出し続けるという、独特の間合いと気遣いが求められます。多い日には1日90杯近く出すこともあるそうです。

現金手渡しの「日給 1,000 円」!

驚くべきはその給与事情です。令和のこの時代に、前座の給金は今も「現金手渡し」だといいます。

- ・前座1年目の日給は1,000円。
- ・年次が上がるごとに1,200円、1,500円と増え、4年目には1,800円になります。「交通費だけで赤字になる」と笑う遊かりさんですが、食事は先輩が全額奢ってくれる文化や、お正月には協会全員から「お年玉」をもらえるという、落語界ならではの温かい互助の仕組みについても紹介されました。

「親」を選べる人生

落語家になるには、自分で選んだ師匠に弟子入りを志願し、認められる必要があります。遊かりさんは、「親は選べないと言うが、落語家は親(師匠)を選べる人生だ」と語ります。師匠・三遊亭遊雀への弟子入りを志した際は、寄席の客席の前から3列目に座り、目立つ「白いセーター」を着て通い詰め、まずは顔を覚えてもらうことから始めたそうです。

社会人経験を経て落語の世界に飛び込んだ彼女の話には、人生の深みと、逆境さえも笑いに変える強さが詰まっていました。(取材1月31日)

ユーカリテレビで放映中



ユーカリが丘国際福祉専門学校は 今! 教えて!

~ユーカリが丘で育つ「地域の孫」たち~

ユーカリが丘国際福祉専門学校では、今、多くの留学生が「介護福祉士」という日本の国家資格を目指して学んでいます。今回は、二人の留学生(ネパールとスリランカ)そして校長先生にお話を伺いました。

【「おしん」から始まった日本への道】

二人が日本を目指した理由はさまざまです。ダクシナ ナワンジャナさんは子供の頃に見たドラマ『おしん』がきっかけで日本に興味を持ちました。



ラミチャネさん



ダクシナさん

一方、ラミチャネ アスミタさんは、先に日本へ来たお兄さんから「日本は安全で安心できる国だ」と聞き、留学を決めたといいます。現在は学校に通いながら、地域の特別養護老人ホームなどでアルバイトに励む毎日です。施設では、シニアの皆さんと大正・昭和の昔話や戦争体験について語り合うこともあります。「シニアの方から学ぶ知識を大切にしたい」と話す彼らにとって、地域の皆さんは異国の地での大切な「おじいちゃん」であり「おばあちゃん」であり、そして「先生」なのです。

【「寄り添う心」と文化の壁】

日本の福祉は、単なる体の介助だけでなく、利用者の心に寄り添う「メンタル」を重んじています。学校ではこの「日本独自の介護」を徹底して指導しており、学生たちも専門用語や敬語の難しさに苦労しながらも、懸命に習得しようとしています。学校では「相手への気配りこそが福祉の基本」と、「公共ルールの遵守」を強く指導していますが、長年の習慣を直すには時間がかかるのが実情です。

【温かい目で見守ってください】

「彼らは非常に気立てが良く、素直な学生ばかりです」。今後は学園祭などの行事を通じて、地域の皆さんと学生が交流する機会も計画されています。物価高などの厳しい環境下でも、彼らは「日本の介護技術を学び、将来は母国で活かしたい」という高い志を持っています。もし街で彼らの不慣れた行動を見かけたら、どうか「地域の孫」を諭すような温かい目で見守っていただけないでしょうか。彼らの明るい笑顔は、これからのユーカリが丘を支える大きな力になるはずです。ユーカリTV放映中(3月18日伊藤佐緒里)

音楽の調べ ピアノの詩人フレデリック・ショパン



新しい出会いや目標に胸をふくらませるこの季節。期待と共にとどこか緊張や不安を覚えることもあるのではないのでしょうか。そんなとき、そっと心に寄り添い、静かに背中を押してくれるのが、「ピアノの詩人」と称されるショパンの音楽です。その繊細でやわらかな響きは、今も世界中で愛され続けています。

ショパンは内気な性格で、大きな演奏会よりも、サロンと呼ばれる小さな空間での演奏を好みました。

身近な人に語りかけるように演奏することを大切にしていたため、その音楽には、まるで誰かがそっと語りかけてくるような温かさがあります。なかでも「ノクターン第2番 変ホ長調 作品9-2」は、その魅力がよく伝わる一曲です。

暖かな午後のひとときに、ショパンの音楽に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。時を超えて愛されるその調べが、日常に静かな彩りを添えてくれることでしょう。

ユーカリ愛音会 <https://ainekai.com/>

(投稿：ピアニスト 江口亜依)

みやさか

宮坂パパさん 柊成(しゅうせい)くん 0歳3ヶ月

イクメンパ



子供との戯れ	休日、パパの担当は
たくましく育てほしい	子育てについてパ
一緒にお酒を飲みたい	将来、お子さんと
幅広い年齢層が共存していて、活気がある	ユーカリが丘はい
気軽に遊べるスポーツ施設があると嬉しい(バスケットボールコートとか)	ユーカリが丘に (取材：広報部)

皆さんに親しまれている！北志津児童センター

子どもたちの成長を温かく見守り、子育て世代が孤独を感じないような「心のよりどころ」を目指している施設です。

【親子で楽しめる「広場」のスケジュール】

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜日・祝日
お子さんの年齢に合わせた交流の場を設けています。

曜日	名称	対象
火・水	ちびっこ広場	未就学児の親子
木	すくちび広場	0ヶ月～未就学児の親子
金	すくすく広場	0ヶ月～12ヶ月の親子

【お知らせ：ママカフェ OPEN!】

子育て支援ボランティア隊の皆さんのご協力により、6月と2月に「ママカフェ」オープンします。詳細は遊戯室で発行している「わんぱくだより」をご確認ください。お待ちしております！

【小中高生も利用できます】

平日の午後や土日、長期休みには小中高生も利用可能です。お友達と一緒に図書室で本を借りたり、卓球を楽しんだりできます。

【スタッフの想い】笑顔と成長を分かち合う

子育て中に孤独を感じることがないように、誰もがほっとできる「みんなの居場所」を目指しています。保護者の皆様と悩みを分かち合いながら、お子さんの成長を共に喜ぶことがスタッフの大きな励みです。

スタッフからのメッセージ：帰り際に子どもたちが見せてくれる「また、明日！」という笑顔を大切に、日々活動しています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

(取材：3月5日 江口亜依)



わがまち・歴史散歩 「歴史と自然が息づく「加賀清水」

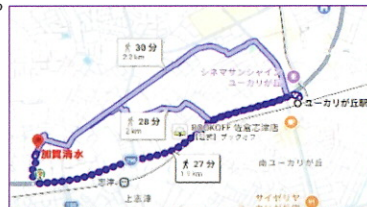


ストーリーで語られる佐倉街道（旧成田街道）沿いに湧く清水で、第八代佐倉藩主大久保加賀守忠朝（1678-1686）が江戸参府の際に賞味した清水の湧水地で、「井野清水」とも、藩主に因んで「加賀清水」とも呼ばれていました。

当地は成田山新勝寺へ向かう成田街道からも近く天保年間（1830-1844年）には、近くの休み茶屋「林屋」がこの清水を使用した茶湯を飲ませ、歌舞伎の名優7代目市川團十郎（1791-1859）も立寄ったといわれます。

市内にある貴重な湧水の一つです。国道296号線脇に、当地への道標が「成田道」道標と常夜燈地（茶屋林屋地）に残されています。駅から少し距離があるため、歩きやすい靴での散歩をお勧めします。

所在地：千葉県佐倉市井野 1624



佐倉に響く、音楽と彫刻の共鳴

ピアノと彫刻、響き合う芸術家夫妻の歩み

ピアニスト 久保節子 さん



佐倉市小竹にお住まいの久保節子さんは、2014年に市から教育文化功労表彰を受けられた、佐倉を代表するピアニストです。東京藝術大学を卒業後、東京文化会館などでリサイタルを重ね、現在はご自宅で大人を対象とした「ピアノ教室玲侖会」を主宰されています。

節子さんの人生を語る上で欠かせないのが、日展などで活躍された彫刻家、故・久保浩さんの存在です。お二人が佐倉での生活をスタートさせたのは50年前のこと。下志津の古民家を浩さん自ら改築し、その後現在の小竹に移られて32年になります。浩さんの作品は、ユーカリが丘駅北口デッキにある男女二体の像「歓び」や、岩名運動公園にある長嶋茂雄氏の像「華」など、今も佐倉の街のシンボルとして親しまれています。分野は違えど、互いに影響し合いながら二人三脚で歩んだ豊かな芸術家人生でした。

里山の自然を愛し、アクティブに生きる

優雅なピアニストとしての姿の一方で、節子さんには驚くほど快活でたくましい一面があります。広大な土地の雑草や竹を刈るために、作業着に身を包み草刈機を自在に操るのが日課だそうです。

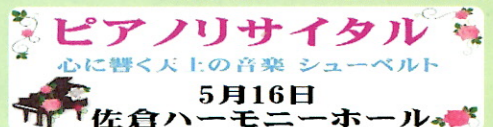
さらに驚くべきは、65歳で一発発起して運転免許を取得されたというエピソードです。何事にも夢中になる夫に代わって、私が運転して買い物、通院、日常生活の足として。旅先ではレンタカーで観光と活動範囲がグンと広がりました。

「夫は朗らかで楽しい人でしたから、一緒にいられて幸せでした」と語る節子さん。地元の旬の野菜をふんだんに使った手料理を楽しみ、豊かな自然に囲まれた日々を慈しんでいらっしゃいます。

心に響く音色を、再びステージで

里山、自然、農業を地域住民みんなで大切に守ること。美術、音楽を楽しむ人間としての感性を育むこと。それがこれからの時代ますます重要になってくると思います。そして「顔の見えるコミュニケーションや文化交流ができる場所があったら楽しいですね」と期待を寄せています。

(インタビュー：3月3日 松井雅子)



パパ大奮闘！ 向里パパさん 清花(きよか)ちゃん 0歳4ヶ月

取り組みますか？	お皿洗い、お風呂
パパの想いは？	思いやりのある子に育てほしい
やりたいことは？	沖縄旅行
心がけですか？	治安が良く安心して過ごせる
望むことは？	市の子育て支援を強化してほしい



第43回 水鏡
4/29
10:00~18:00
ユーカリが丘公園

緑のまつり

ユーカリが丘商店連合会主催

花と産直野菜の直売会
出店&キッチンカー
千ア&吹奏楽ステージ
森のコンサート
見て乗って働く車が大集合!
ラッキー抽選会
チャレンジ!ミッション5
同時開催 スーパーカップ大集合!!

最新情報は
こちらをチェック!
高速HP



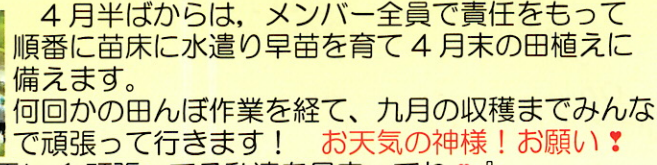
LET'S ENJOY!!



今年もやります! 第12回小竹「田んぼ体験」

第12回小竹「田んぼ体験」 35組のメンバーで始動しました!!
今年の始動は3月8日(日)顔合わせと足慣らしを兼ねた、参加者24名の楽しみ、「おいしい竹の子」を収穫するための準備!
孟宗竹林の間伐作業! 頑張ったね!! (上の写真)
そして3月28日(土)には、苗床の受け入れと田んぼの水路整備いよいよ本格的に田んぼ作業が始まりました。

4月半ばからは、メンバー全員で責任をもって順番に苗床に水遣り早苗を育て4月末の田植えに備えます。
何回かの田んぼ作業を経て、九月の収穫までみんなで頑張ってください! お天気の神様! お願い!
『なにとぞ、優しく頑張ってる私達を見守ってね!』
連絡先: 宮ノ台2-5-2 鈴木 均 Tel: 090-3216-0192
E-mail: juha-toshi@catv296.ne.jp (里山・園芸チーム 鈴木 均)



第5回

ユーカリ音楽祭

2026年7月6日(月)

第16回 防災フォーラム2026 開催!

前日來の大雪、そして国政選挙の投票日とダブルパンチの中で令和8年2月8日(日)志津コミセン大ホールに於いて、「第16回防災フォーラム2026」が開催されました。
佐倉市八街市酒々井町消防組合 志津消防署長 齋藤 真一氏をお招きして、「災害時の消防活動について」お話を伺いました。消防署や消防団が災害時にどのような役割を担うのか、また、最近導入された「Live119」や救急車の適正な利用方法になど、質疑応答を交えて、私たちが今すぐ実践できる知識まで幅広く網羅された講演内容は参加者に深い感銘を与えました。残念ながら、大雪のため消防車、はしご車、救急車などの車両展示は中止となりました。

スマートフォン講座
第2回

これは使わなきゃ損!
ChatGPTの便利技
Gemini

参加費 無料!

4月20日(月) 2026 13:30~15:00
ユーカリボウル2階

「何でもカルチャー」の参加申し込み方法

左記の「何でもカルチャー」への申し込みは、
電話: 043-312-4098 (留守電メッセージ)
メール: mediahome@nifty.com
QRコード: スマホで簡単! QRコードの使い方
1. スマホの「カメラ」で
2. 各セミナーのQRコードを画面の真ん中に映します。
3. 画面に出てきた黄色い文字をポンと押してください。
4. 申し込みフォームへ自動的に移動します。
参加料: 無料 (コースによっては材料費などが必要となる場合があります。)
(何でもカルチャーチーム)



どなたでも大歓迎です!

何でもカルチャー
第3回
ワインセミナー

2026.05.24(Sun)
西ユーカリが丘6・7丁目自治会館


ほうろくきゅう

宝樹院 春の焙烙灸

健康祈願のお灸イベント

5月24日(日)
10時~14時 受付
宝樹院 本堂にて

参加費: 500円 (子ども無料)
予約不要
詳細はQR→



毎月第三日曜日
ユーカリボウル
名画鑑賞会
上映予定表

上映日	題名
4月19日	男と女
5月17日	エデンの東
6月21日	フォレストガンブ
7月19日	泥棒成金
8月16日	哀愁
9月20日	ライフイズビューティフル

入場無料



発行責任者
NPO 法人ユーカリ
タウンネットワーク
会長 設楽 徳雄
編集
ユーカリタウンネットワーク
広報部

〒285-0858
佐倉市ユーカリが丘3-2-1
山万サンサンビル105号

Tel. & Fax. 043-312-4098
npoytn@catv296.ne.jp
<http://npoytn.jimdo.com>

